

ジアルジア症(ランブル鞭毛虫症)は下痢を生じる小腸の感染症で、単細胞の寄生虫であるランブル鞭毛虫によって起こります。ジアルジア症は世界各地でみられ、米国では寄生虫による腸管感染症の中で最も多いものです。ランブル鞭毛虫は湖や河川など淡水でよくみられる寄生虫で、一見きれいに見える場所にも存在しています。たいていは汚染された飲み水による感染ですが、子供同士やセックスパートナーから、便中のシストが人から人へ直接感染することもあります。また、複数のセックスパートナーがいる男性同性愛者、託児所にいる小児、開発途上国へ旅行したことがある人、川や湖の水を飲むヒッチハイカーなどがかかりやすい病気です。

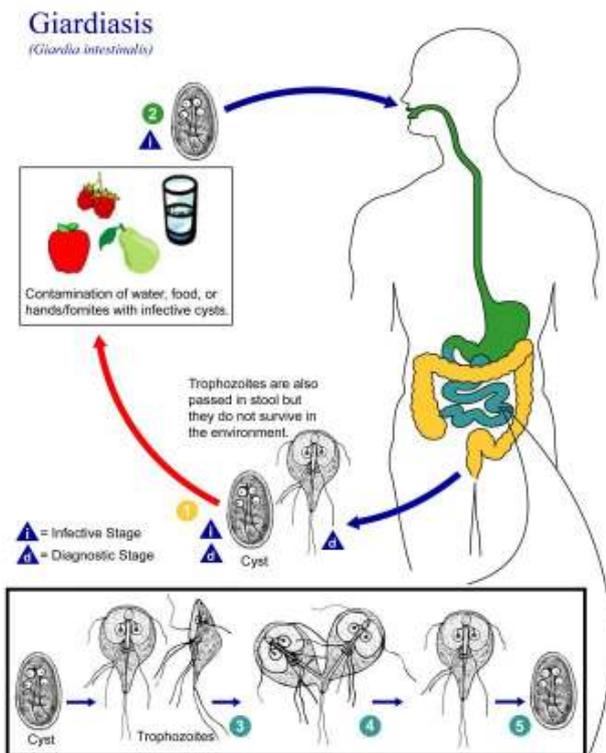
症状と診断

感染者の中には症状が出ない人もいますが、腹痛、ガスの増加(鼓腸)、悪臭を伴う下痢などが起こります。治療を行わないと下痢が何週間も続くことがあり、食べものから栄養を十分に取れなくなり、体重が減少します。

症状からこの病気が疑われることが多く、便や小腸から採取した分泌物を顕微鏡で調べ、寄生虫を検出します。長期にわたる感染の場合は、便に寄生虫が出る周期が不規則なので、繰り返し検査を行う必要があります。便抗原検査でも感染を確定できます。

治療

ジアルジアにはメトロニダゾールの内服が有効です。ただし、この薬を服用中に飲酒すると、吐き気や嘔吐が起こります。フラゾリドンには内服の液剤もあり、小児に使われます。感染者と同居していたり、身近に接触したことがあり、ジアルジア症の症状が出た人は、医師に検査や治療の必要があるか相談した方がよいでしょう。



患者背景

新患 40代 男性

アレルギー歴：花粉症、併用薬：無し、副作用歴：無し

処方内容

Rp 1) フラジール内服錠 250 mg 3T

分3 毎食後 7日分

Rp2) リバロ錠 2 mg 1T

分1 夕食後 14日分

Rp3) ディオバン錠 80 mg 1T

分1 朝食後 14日分

フラジール内服錠 250 mg 効能又は効果／用法及び用量

1. トリコモナス症（膣トリコモナスによる感染症）

通常、成人にはメトロニダゾールとして、1クールとして、1回 250mg を1日2回、10日間経口投与する。

2. 細菌性膣症

通常、成人にはメトロニダゾールとして、1回 250mg を1日3回又は1回 500mg を1日2回7日間経口投与する。

3. ヘリコバクター・ピロリ感染症

アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びプロトンポンプインヒビター併用によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合

通常、成人にはメトロニダゾールとして1回 250mg、アモキシシリン水和物として1回 750mg（力価）及びプロトンポンプインヒビターの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。